

## 18 大阪・関西万博（2025年日本国際博覧会）の成功に向けた取組みの推進について

アラブ首長国連邦で開催された「2020年ドバイ国際博覧会」では「Connecting Minds, Creating the Future（心をつなぎ、未来を創る）」をテーマとし、様々な国や地域の歴史、文化、イノベーションの多様性を体現した。

この次代としてその御旗を受け取った大阪・関西万博（2025年日本国際博覧会）のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」。世界では、未だ衰えぬ新型コロナウイルス感染症の拡大やロシア・ウクライナ情勢等の戦禍、気候変動や貧困、食料問題、急速な高齢化など、様々な課題に直面している。

まさに「いのち」にかかわる多様な英知を結集させ、世界の課題解決に貢献するとともに、未来への希望を世界に示すことが求められている。

大阪・関西では、人々の「いのち」に向き合うライフサイエンスなどの未来医療、持続可能な社会に資する水素など次世代エネルギー、さらには、自動運転や空飛ぶクルマといった次世代モビリティなど、新たな技術やサービスの集積が進んでいるところである。大阪・関西万博の会場である「未来社会の実験場」において、これらを開花させ、世界に発信していく必要がある。また、各自治体においては、世界に向けた地域の文化、産業などの魅力発信に加え、ホストタウンとして参加国との交流など地域の振興や活性化にとどまらず、地域ならではの未来社会を世界の人々と共に創りあげていく契機とする必要がある。

これらを実現するためには、全国知事会で、新たに設置した「大阪・関西万博（2025年日本国際博覧会）推進本部」において、都道府県が一致団結して、機運醸成や自治体独自の取組みを推進するとともに、関係者と緊密に連携し、万博の成功、ひいてはわが国の持続的な成長・発展に向けた取組みをオールジャパンで推し進めていくことを決議するものである。